学校番号	４０８

平成 31 年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	美術１（光村図書出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動の様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術とは	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション ・教科書鑑賞 ・静物スケッチ	 ○ ○ ○	 ○	 ○	 ○ 	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:スケッチの目的を理解し、ペンの特性を生かして表現している。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。	学習活動の様子 ワークシート 制作の様子 作品
	身近なものを描く	【絵画・彫刻】 ・鉛筆画	○ 	 	○ 	 	a:身近なモチーフを改めてみつめ、形に関心をもち、表現しようとしている。 c: スケッチの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	制作の様子 ワークシート 作品
	イメージ造形	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・立体造形 ・相互鑑賞	 ○ ○	 ○ 	 ○ 	 ○	a:アイデアからイメージを広げ、表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:自分のイメージを表現できるよう、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 c:材料、用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	制作の様子 制作途中の作品 作品 ワークシート 鑑賞活動の様子や発言内容
2学期	夏休みの宿題	【鑑賞】 ・展覧会鑑賞 【映像メディア表現】 ・作品鑑賞	 ○ ○	 	 	 ○ ○	a:他者の表現に関心をもち、その表現意図やメッセージを感じ取ろうとする。 d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	ワークシート

	色彩構成	【デザイン】 ・色彩構成	○	○	○		a:イメージを組み合わせて平面構成をすることに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	制作の様子 ワークシート 作品
	木彫レリーフ制作	【絵画・彫刻】 ・木彫	○	○	○		a:自然のもののよさを感じ取り、表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:木材の特性を生かし、彫刻技法、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 c:木材やカラーステイン等、用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。	制作の様子 制作途中の作品 作品 ワークシート
3学期	静物画	【絵画・彫刻】 ・水彩画	○		○		a:絵の具や道具の特性を理解し、意図に応じた表現を追及しようとしている。 c:モチーフをよく観察し、光と色彩、空間との関係にも理解を深め、表現を工夫している。	制作の様子 作品 ワークシート